

TEEN's BOOK LETTER

from Sakyo & Iwakura Library



『かわいい浮世絵』

日野原 健司／著 太田記念美術館／監修
東京美術

浮世絵とは、江戸時代や明治時代に庶民に愛された娯楽の一つで、生活や流行などをテーマにした絵画や版画のことです。菱川師宣や葛飾北斎の名前を聞いたことはあるでしょうか？この本では、「かわいい」というキーワードで様々なモチーフの浮世絵が紹介されています。思わず顔がほころんでしまう動物や子どもの姿などがたくさんあります。そしてなんといってもカラフル！

『浅田家』

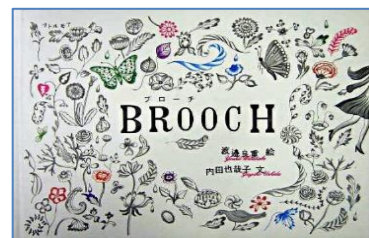
浅田 政志／著 赤々舎

「写真界の芥川賞」木村伊兵衛写真賞受賞のこの本は、一言で言えばコスプレ&シチュ写真集です。今時フツーのそれを、家族でやっちゃったことが浅田さんのスゴイところ。60歳オーバーの高齢の両親とお兄さんと本人。その4人で、消火活動、大食い選手権、極道などなど、それは無理があるだろう！というコスプレにも大真面目で取り組む様子が、笑いを誘います。普通とは少し違った家族の記念写真集、この秋になんと嵐の二ノ主演で映画化もされました！



『ブローチ』

渡邊 良重／絵 内田 也哉子／文 リトルモア



やわらかくて温かく、デザイン性が高く繊細で、美しい色で描かれた絵に目を惹かれます。透ける紙が使われているので、1ページ先、2ページ先の絵と重なり物語が続いていく様子を楽しむことができます。絵とともに、感性のある短い言葉が添えられています。誰もが思い当たるような漠然とした想いが言葉で表現されており、ドキッとさせられたり、共感したり、胸を打ちます。目で癒され、心も軽くなる1冊です。

ここで使用している画像はすべて出版社の許可を得て掲載しています。使用・転載はしないでください。



目で、愛でる



秋が深まってきました。

読書の秋、食欲の秋など色々な「秋」がありますが、今回は「芸術の秋」！目で見えて楽しい本をご紹介します。クスッと笑える本から、へえー！と思える本まで、ビジュアルも中身も楽しんでくださいね。



『くらべる京都』

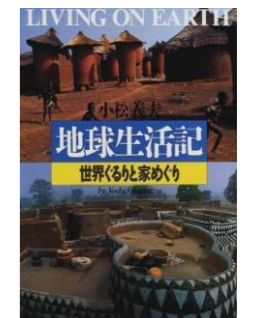
岡部 敬史／文 山出 高士／写真 東京書籍

「川床」。読み方は2通り。それぞれの読み方とその違いは何でしょう？「鴨川」と「賀茂川」。読み方は同じなのに、表記が違うのはなぜでしょう？では、「加茂川」はこの県の川でしょうか？京都をくらべる、京都のくらべる、京都とくらべる。京都に関する事柄が、写真と解説の4ページから構成されています。ふだん何気なく通り過ぎているものを違う角度から見てみませんか？

『地球生活記 -世界ぐるりと家めぐり-』

小松 義夫／著 福音館書店

山深い奥地や高地、寒い国暑い国、雨が少ない土地や多い土地、辺境だったり都会だったり、世界の人はいろんな環境で暮らしています。家の外観・装飾・家並・食事の風景など、家とそこに住む人の暮らしを感じる楽しい写真が次々と出てきて、ページをめくりながらわくわく見飽きることはありません。タイトルのとおり、地球をぐるりと回って、世界の人たちの生活を体験しましょう！



『空の絵本』

長田 弘／作 荒井 良二／絵 講談社



雨が強く降り、雷が激しく鳴り、静かに止んだ。明るくなって、透き通った空気が広がる。夜は、星が瞬き、月が輝く。特別なことはなく、当たり前の風景のなんと美しいこと！水、木、光……。自然の力強さを感じることができます。時には、自分を空っぽにすることも大切な時間です。

京都市左京図書館

住所 〒606-8103 京都市左京区高野西開町5
電話番号 075-722-4032
開館時間 平日 午前9時30分～午後7時(当面の間)
土・日・祝日 午前9時30分～午後5時

京都市岩倉図書館

住所 〒606-0013 京都市左京区岩倉下在地町16
電話番号 075-702-8510
開館時間 月・木 午前9時30分～午後7時
水・金・土・日・祝日 午前9時30分～午後5時

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間など変更する場合があります。

休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日) 年末・年始(12月29日～1月5日)